

【創立50周年記念号】

# しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]

社会福祉法人しらゆり会  
創立50周年記念式典



Shirayuri  
第32号  
2017  
February





# しらゆり

2017 February

2

**理事長挨拶**  
しらゆり第32号発刊に寄せて

3

**法人基本方針**  
平成27年度運営方針  
しらゆり会役員等名簿

4

**創立50周年記念式典**  
(新規採用職員・永年勤続者表彰)

5

**特集①**  
社会福祉法人しらゆり会  
創立五十周年記念事業  
(式典・祝賀会・講演会)

9

**特集②**  
「しらゆり保育園」新築移転

11

光洋の里開園30周年を祝って

12

平成27年度寄付・寄贈  
入札結果  
平成27年度苦情処理状況

13

平成27年度決算報告

14

**施設の活動報告**

救護施設 泉の園

障がい者支援施設 希望の園

共同生活援助事業 互助の館

相談支援事業所 ねくすと

障がい者支援施設 光洋の里

生活介護事業 さざなみ

就労継続支援A型事業 ワークセンター島根

軽費老人ホーム ケアハウス 夢葉の郷

特別養護老人ホーム 詔光の里

特別養護老人ホーム いやしの館

老人デイサービス事業 きらめき

老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい

訪問看護ステーション 暖心

居宅介護支援事業所 ナイス

児童福祉施設 しらゆり保育園

児童福祉施設 しらゆり第2保育園

児童福祉施設 しらゆり第3保育園

児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

27

**視察研修旅行記**

# しらゆり第32号 発刊に寄せて

社会福祉法人 しらゆり会

理事長 国頭 正治



新しい年が明け、既に二カ月が経とうとしています。この地方も久しぶりの大雪に見舞われ、大変な思いをなさっている方々もいらつしやると存じます。

昨年は当法人の事業着手から50周年を迎え、ささやかではありますが記念式典及び記念講演を開催させていただきました。そして、多くの皆様に支えていただいた感謝の気持ちをお伝えできましたことを嬉しく思っております。50年前から今日まで、本当に多くの方に関わって頂き成長させていただきました。各事業所も先人の施設長、職員の皆様を手本として引き継いでまいりましたが、その間様々な法改正の波に打たれ続け、新しい時代とニーズの変化への対応を余儀なくされながらも、皆様の支えがあり、常に前を向きながら歩んでまいりました。ここまで育てて頂きました多くの方に感謝申し上げます。

さて、いよいよ4月から改正社会福祉法が施行となり、変革を自覚しながら社会福祉法人のあるべき姿を追求し

ていかなければなりません。しかし、公正取引委員会は9月5日に、特別養護老人ホームの開設主体について、医療法人・株式会社が社会福祉法人と対等の立場で参入出来るようにすることが望ましいとする介護分野に関する報告書をまとめました。理由は、介護対象者の需要ピークにおける2025年問題に対し介護の大きな政策課題とし、多様な事業者の新規参入など競争を活発化させることで、サービス供給量の増加や質の向上、人材不足の解消が図られるとしました。このことは、平成29年4月に始まる社会福祉法人改正法を無にする報告書であるとして、多くの福祉界から反発の声が上がり、大きな禍根を残しております。

時代の早い流れの中で、その価値観は常に変動しております。しかし、その流れの中で自分を見失うことなく、私どもは福祉事業を継続していくために、しらゆり会に大きな根と幹に育てる養分を十分に与えることができるよう、今後とも皆様と共に頑張つて歩んでいきたいと考えております。

## 法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていたできるように、役員員丸となつて利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

### 一. 人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

### 二. 良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

### 三. 信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切な対応)

### 四. 地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

### 五. 法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

## 平成二十八年度 法人の運営方針

社会福祉法人しらゆり会は、社会福祉事業の主たる担い手として、事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性を図り、もつて地域福祉の推進に努めてまいります。

### 重点目標 一. 社会福祉法人制度改革への対応

ア 法人の内部統制(ガバナンス)を機能させるための運営組織の強化  
理事・理事長・理事会・評議員・評議員会及び監事の権限・義務・責任等の明確化を図り、経営組織体制を見直すことにより、ガバナンスの強化を図る。  
イ 事業運営の透明性の向上  
適正な運営について広く国民に対する説明責任を果たすため、財務諸表等の公開を進め、より効果的な事業推進を図る。

### ウ 地域社会への貢献

他の事業体では対応できない様々なニーズを充足することにより、地域社会に貢献する社会福祉法人としての責務を果たしていく。

### 二. 五十周年事業

今年度は、法人運営の大きな節目となる「五十周年」を迎える。これを機に、新たな革新を生み出す活力を創出するため周年事業を計画し、「存在意識を高める」、「特色を際立たせる」、「福祉事業としての実力を高める」視点で事業を実施し、法人が目指すこれからの方向性へと繋げていく。

### 三. 福祉人材確保

福祉サービスの供給量の拡大に伴って人材不足が顕著になっていくが、法人組織的強みを活用しながら関係機関の連携強化を図ると共に、職場環境改善に取り組み、人材確保を進めていく。

## しらゆり会役員・評議員名簿

(任期/平成27年3月8日から2年間)

職	氏名	現在の職業及び公職
理事 評議員	国頭 正治	理事長 泉の園・希望の園・ ワークセンター島根施設長
	国頭 正久	統括事務局事務局長 夢楽の郷・詔光の里施設長
	比良 幸男	松江市議会議員
	小林 良二	社会保険労務士
	北川 泉	島根県老人クラブ連合会評議員 (元島根大学学長)
	須谷 留	(元松江市民生児童委員協議会事務局長)
	恩田 要	松江市福祉推進委員 (元シンセイ技研(株)代表取締役)
	森 晴美	(元本会施設長)
	錦織 暁	(元栄徳商事(株)常務取締役)

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会議員、(有)三島運輸役員
	瀬崎 淳一	(有)ベリーショップ専務取締役
	山本 寿子	松江市社会教育委員
	上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校校長
	石田 正美	希望の園保護者会会長
	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
	中島 修	(元社会福祉事業団職員)
	金築 宏	島根銀行審査管理グループ部長
	池田由美子	しらゆり千鳥保育園施設長
	竹田 純子	(元本会施設長) 平成27年5月22日就任
監事	廣瀬 芳徳	(前栄徳商事(株)代表取締役)
	柳原 知朗	(元松江市職員)



# 社会福祉法人しらゆり会 創立50周年記念式典



本会創立50周年記念式典が、平成28年4月14日ホテル穴道湖で開催されました。

当日は、理事、監事を含む役員・職員約100名が集い、永年勤続表彰、新規採用職員紹介等が行われました。また記念講演においては、鳥根県人権啓発推進センターの啓発指導講師である藤原博詩氏をお招きしました。誰もが暮らしやすい世の中になるようにとの思いで設計されるユニバーサルデザインについての講演は、我々福祉に携わる者として非常に参考になりました。



## ■新規採用職員

施設名	職名	氏名	採用年月日
泉の園	介護職員	錦織 恵	平成28年4月1日
泉の園	介護職員	清水 大樹	//
希望の園	支援員	舟越 千代	//
互助の館	支援員	皆川喜久雄	//
互助の館	支援員	石橋美也子	//
光洋の里	支援員	濱岡 佑輔	//
光洋の里	調理員	野津 彩菜	//
詔光の里	介護職員	隠岐 圭美	//
しらゆり保育園	保育士	平石好佐子	//
しらゆり保育園	保育士	立川 綾	//
しらゆり保育園	保育士	山本 靖菜	//
しらゆり保育園	保育士	近藤 郷美	//
しらゆり保育園	調理員	藤田 健	平成27年11月1日
しらゆり第2保育園	保育士	山本 智子	平成28年4月1日
しらゆり第2保育園	保育士	中田 綾	//
しらゆり第2保育園	保育士	松浦 静香	//
しらゆり第3保育園	保育士	岡田 由衣	//
しらゆり第3保育園	保育士	門脇 桂子	//
しらゆり第3保育園	調理員	二村百合子	//

施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり千鳥保育園	保育士	山本 麗華	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	森田 真奈	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	山内 紅葉	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	広江 瑞貴	//
暖心	機能訓練士	恩田 佑子	平成27年10月1日
統括事務局	主事	住田奈津樹	平成28年4月1日
統括事務局	主事	岡 貢希	//



新規採用職員

## 永年勤続者表彰

今年度は勤続20年の表彰者は1名、10年の表彰者は4名となりました。

勤続20年を迎えると海外、10年を迎えると国内への職員特別研修視察に行くことができます。

### ■永年勤続者

年数	施設名	職名	氏名	採用年月日
20年	詔光の里	栄養士	曾田 恭代	平成6年4月1日
10年	暖心	主任	津田 恵子	平成17年6月1日
	光洋の里	支援員	大塚 悦子	平成18年4月1日
	光洋の里	支援員	濱田 直志	平成18年4月1日
	統括事務局	主事	竹田 宏子	平成18年4月1日



永年勤続(20年)



永年勤続(10年)





特集①



社会福祉法人しらゆり会 創立五十周年事業

〈式典・祝賀会・講演会〉

平成二十八年十一月二十二日（火）に、社会福祉法人しらゆり会創立五十周年を記念し、ホテル一畑において式典と祝賀会を、翌日の二十三日（水）には、辛坊治郎氏をお迎えして、講演を開催いたしました。

式典には、鳥根県知事（代理）、松江市長、境港市長、しらゆり会役員、万寿会関係者、各施設の親族関係、取引業者等約二百名の参加があり、厳粛に進行いたしました。長年にわたり施設へのボランティア等ご協力を賜った二十六名の方々に感謝状を贈呈し、感謝の意を表するとともに、しらゆり会のさらなる発展を祈念いたしました。

祝賀会では、冒頭にしらゆり千鳥保育園の園児によるしらゆり太鼓があり、雄大な太

鼓の音に参加者は感動していたしました。その後、株式会社鳥根銀行頭取青山泰之氏の乾杯の音頭で、終始楽しい雰囲気の中、進行しました。最後に万寿会の副会長で、鳥根電工株式会社代表取締役社長荒木恭司氏の万歳三唱で終了いたしました。







泉の園関係

松江南消防署 署長 金村 保正様  
 竹矢公民館 館長 角田 千年様  
 矢田町内会 会長 松浦 一彦様  
 八雲病院 院長 角南 眞様  
 鈴木内科医院 院長 鈴木 重道様  
 内田歯科医院 院長 内田 朋良様  
 運営推進会議委員会委員 持田 高行様  
 石田 雅士様

いやしの館関係

光洋の里関係

境港赤十字奉仕団 代表 伊東 征子様  
 家庭倫理の会山陰 会長 岩本 裕美様  
 おしゃべりたんぼぼ 代表 浜田 照美様  
 大庭スワンス 代表 伊藤 幸子様  
 翔ファミリー 代表 渡 忠昭様

きらめき関係

夢楽の郷関係

若槻内科医院 院長 若槻 豊様  
 島根大学教職大学院教授 肥後 功一様  
 ぐんじ歯科医院 理事 郡司 恵子様

保育園関係

詔光の里関係

おむら内科クリニック 院長 小村 秀史様  
 大町歯科医院 院長 大町 健介様  
 詔光の里第三者委員 角 正治様  
 お話ブリュッケン 主宰 宇田 祥子様  
 矢田町内会 婦人部長 菅井百合子様  
 須田 良子様  
 中倉 広子様  
 飯塚 雄哉様

上田歯科医院 院長 上田 雅康様

(以上二十六名・順不同)



## 記念式典



## 記念祝賀会





# 未来を見通す 正しい判断に必要なこと

ニユースキャスター

## 辛坊 治郎氏

ニユースキャスター・辛坊治郎氏から記念講演の冒頭に、父親が自衛隊美保基地に勤めていたこともあり生まれは鳥取県米子市。その後宮城県松島、岐阜県各務原に転居したことを自己紹介後、講演開始。約八百人もの来場者がありました。

講演骨子は次の通りです。

- 月曜日から金曜日までの朝番組「ZIP」(山陰では日本テレビの30分を含めて早朝五時二十分から二時間)を毎朝担当している。
- 番組を担当して言えることは、1人ひとりが自分の頭で考えて未来を読み解くこと。そのためには正しい情報の見極めが大切だ。
- 日曜日にも一つ番組「そこまて言って委員会」を担当している。そこでは年金問題等できるだけ正しいことを伝える良質の情報提供を心掛けているが、自分宛の番組への理不尽なクレームも多い。
- 一概に言えないが、東京メディアは、基本的に権力に近いがゆえに、建前とか役所の公式見解しか伝えない。本当のことが皆さんのところに伝わっていないのでは。役所の規制も強く自動運転や自動ブレーキ等の先端技術開発が遅延したこともある。東京発の情報をもとにするのではなく、地元密着メディアを信用したほうがいいと思う。
- 今や、急速に進むIPS技術。先端医療、高額医療も健康保険制度の適応になる。日本の健康保険制度は世界一で、こんな制度を持っている国はない。鳥取大学医学部でのロボット手術(ダヴィンチ)等をはじめ、地方でも最先端医療も受けられる。医療や福祉など地方がアドバンテージを持つ時代になった。
- 今なお夢に出てくるヨットでの遭難。体験をして人生感が変わった。「生かされている私の命」を強く感じ、今日々を過ごしている。できるだけ多くの経験を積んで欲しい。





# しらゆり保育園新築移転

特集2

〈開園／平成28年4月1日〉



一時預かり保育室



0.1.2歳児保育室



玄関・ホール



デッキ・シンボルツリー

## 一、新園舎への移転について

しらゆり保育園は、昭和四十二年に、しらゆり会の最初の施設として開園し、翌年、松江市山代町に園舎が完成、そして、運営してまいりました。

ところが、平成二十二年に、国道四三二号バイパス新設ルートにしらゆり保育園が含まれることが判明し、移転先候補地の選定が始まりました。

平成二十四年に移転先地として、松江市大庭町（現在の新園舎）を正式に決定し、計画が進行しました。

そして、平成二十八年四月一日に、定員百五十名で正式に開園しました。

## 二、今後の保育について

近年、就労する女性の増加により、保育所へ入園を希望する方が増えています。しらゆり会の職員の中にも、出産後速やかな現場復帰を希望する者もいますが、保育所の受け入れが難し





厨房



更衣室



遊戯室



3.4.5歳児保育室



鉄骨造り1階建て  
園舎概要  
延面積／1829.62㎡  
敷地面積／6487.34㎡

### 移転新築工事経過

- 平成22年1月 移転先候補地選定開始
- 平成24年11月 移転先候補地決定
- 平成26年10月 園舎建築基本設計委託
- 平成26年11月～平成27年3月 園舎敷地用地取得
- 平成27年8月 園舎設計監理委託 園舎建築請負契約
- 平成28年3月15日 定礎式
- 平成28年3月25日 落成式
- 平成28年3月28日 定員120名で暫定開園
- 平成28年4月1日 定員150名で正式開園



2.3.4.5歳児トイレ



0.1歳児トイレ

そのため、就労ができないものもいます。  
しらゆり会においては、四園全ての定数を百五十名といたしました。それによって多くの女性の職場復帰を後押ししたいと考えております。  
しらゆり会の保育園では、「健」「美」「和」を保育目標に掲げ、健康な心と体を育て、豊かな感性や表現する力を養い、自律心を育て、人とかかわる力を養います。  
今後より一層努力を重ね、心身ともに健全で豊かな情操を養い、なかよく遊べる子どもを育てていきたいと思っております。





理事長あいさつ



感謝状贈呈

昭和61年（1986年）6月1日に開園した光洋の里は、今年30周年の節目の年を迎えることとなり、去る6月5日に記念式典を挙行いたしました。オープニングは、施設利用者・職員有志らで奏でるディスクベルの美しい響きからでした。式典には、行政や地域の方々など、たくさんの方々の皆様にお出掛けいただき、温かなお祝いの言葉を頂戴いたしました。

## 光洋の里開園30周年を祝って

また開園当初より様々な面で、施設を支えて下さったボランティア団体並びに個人の皆様全員に感謝状を贈呈し、日頃伝えきれない感謝の気持ちを表すことができました。その後、恒例の「里まつり」へと移行し、記念ステージでは境港市立第三中学校の吹奏学部による演奏が披露され、その迫力ある音に圧倒され、魅了されました。同時に園内各所では

様々な催し物が行われ、地域の方々や親族の皆さん、姉妹施設の利用者さんなど、たくさんの方々にご来場頂き、歓声や笑い声を聞くことができました。

いま30年前を語る仲間、利用者さん、職員ともにわずかな人数になってしまいました。が、30年の間には根拠法が変わりサービスの体系も大きく変化しました。かつてはご利用のなかった子供さんたちもショート

ステイや日中一時支援で来られるようになり、施設の日常は大きく様変わりしました。

これからも様々な課題を克服しながら、障がい者支援のあり方は変化を続けていくものと思われませんが、光洋の里はどんな時代であっても、常に障がいのある方々に寄り添い、その生活を支え続けていきたいと願っています。



ディスクベルによるオープニング



境港市立第三中学校吹奏楽部の演奏



平成27年度  
**寄付・寄贈**

平成27年度年も多くの方々から  
善意の御寄付をいただきました。

寄付者(敬称略)	施設	寄付物品
森義郎	光洋の里	寄付金
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄付金
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
松江土建・まるなか建設特別共同企業体	しらゆり保育園	寄付物品
富士不動産	しらゆり保育園	寄付物品
島根電工(株)	しらゆり保育園	寄付物品
シンセイ技研(株)	しらゆり保育園	寄付物品
こうの理化学	しらゆり保育園	寄付物品

(掲載対象期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日)

最近の  
**入札結果**

平成27年8月以降の大規模工事にかかるとおりの入札結果は次のとおりです。

①入札事業名：しらゆり保育園  
移転改築工事(一般競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町  
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成27年8月28日
3. 入札参加者：カナツ豊洋特別共同、松江土建・まるなか建設特別共同、一畑工業・幸陽建設特別共同
4. 入札結果：落札業者  
松江土建・まるなか建設特別共同

②入札事業名：光洋の里  
昇降浴槽更新(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町  
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成28年8月28日
3. 入札参加者：鳥取医療器(株)  
米子営業所、平成メデイカル(有)  
米子営業所、平成メデイカル(有)
4. 入札結果：落札業者  
鳥取医療器(株) 米子営業所  
落札額 6,588,000円  
(消費税及び地方消費税込み)

③入札事業名：しらゆり保育園  
旧園舎解体撤去(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町  
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成28年8月1日
3. 入札参加者：松江土建(株)、カナツ豊洋、(株)植尾組、(有)ヨシオカ宮繕、(株)奥田組
4. 入札結果：落札業者  
松江土建(株)  
落札額 15,098,400円  
(消費税及び地方消費税込み)

④入札事業名：希望の園  
倉庫外装改修工事(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町  
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成28年8月1日
3. 入札参加者：(有)ヨシオカ宮繕、安島工業(株)、(株)長岡塗装店、(株)奥田組、(株)戸島工業所、(有)舟越建設
4. 入札結果：落札業者  
(有)舟越建設  
落札額 21,600,000円  
(消費税及び地方消費税込み)

⑤入札事業名：夢楽の郷  
外壁改修工事(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町

5. 契約年月日：平成27年9月1日

- 934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成28年8月1日
3. 入札参加者：松江土建(株)、カナツ豊洋、(株)植尾組、(有)ヨシオカ宮繕、(株)奥田組
4. 入札結果：落札業者  
まるなか建設(株)  
落札額 23,220,000円  
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成28年8月5日

**苦情の状況(平成27年度)**

苦情受付総数19件のうち7件が職員に対する苦情でした。具体的には、職員間の情報共有が十分でないことや、直接処遇させて頂く職員の細やかな配慮が不足している等の内容でした。また、サービス提供に関する苦情が7件、利用料に関する苦情が2件、公用車の駐車方法等に関する苦情が2件、施設設備に関する苦情が1件ありました。

これらのお申し出頂いた苦情に対し、早急な対応を心掛け、慎重かつ丁寧にお話を伺ったり、職員間での協議を重ねたりすることにより解決して参りました。

今後もお申し出頂いた苦情を真摯に受け止め、より良いサービスの提供が出来るよう精進して参ります。



# 平成27年度決算状況

## 平成27年度決算状況

(社会福祉法人しらゆり会)

### ■ 貸借対照表 (平成28年3月31日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,374,827,085	流 動 負 債	746,762,565
固 定 資 産	5,712,896,343	固 定 負 債	517,769,053
		基 本 金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	1,585,653,593
		そ の 他 の 積 立 金	1,017,000,000
		次期繰越活動増減差額	2,279,199,094
資産合計	7,087,723,428	負債・純資産合計	7,087,723,428

### ■ 事業活動計算書 (自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日 (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
サービス活動費用	2,130,386,520	サービス活動収益	2,269,111,076
サービス活動外費用	8,037,488	サービス活動外収益	41,172,677
特別費用	442,079,241	特別収益	454,730,406
当期活動増減差額	184,510,910		
合計	2,765,014,159	合計	2,765,014,159

### ■ 資金収支計算書 (自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日 (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業活動支出	2,051,481,861	事業活動収入	2,312,028,705
施設整備等支出	931,835,180	施設整備等収入	762,752,266
その他の活動支出	116,933,889	その他の活動収入	13,834,335
当期資金収支差額	△11,635,624		
合計	3,088,615,306	合計	3,088,615,306

### ●平成27年度 施設整備事業

#### 1. 修繕関係

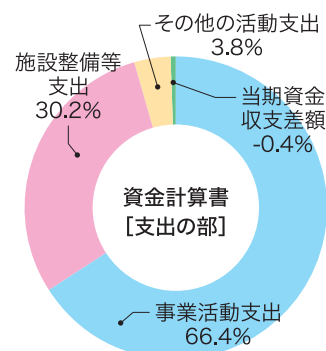
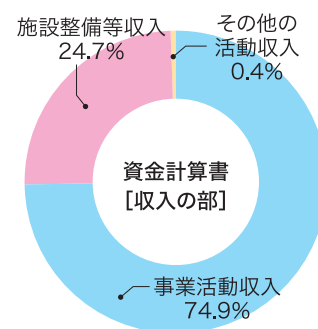
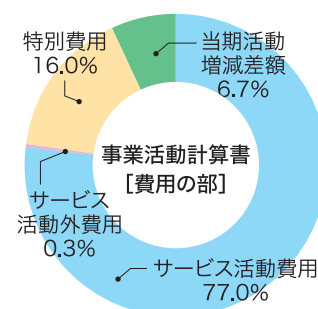
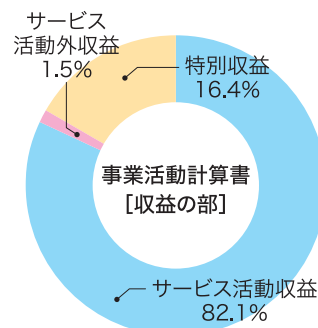
- 非常照明器具取替工事 (詔光の里)
- 2階ベランダ補修工事 (しらゆり第3保育園)
- 玄関サッシ改修工事 (しらゆり千鳥保育園)

#### 2. 備品関係

- 非常用発電機 (更新) (泉の里)
- 昇降浴槽 (更新) (光洋の里)
- 新館居室エアコン (更新) (夢楽の郷)
- スチームコンベクションオープン (更新) (詔光の里)
- 食器洗浄機 (更新) (希望の園)
- シーツローラー (更新) (希望の園)
- 全自動洗濯機 (更新) (希望の園)
- スーパーオープン (更新) (希望の園)

#### 3. 基本財産取得

- 園舎移転新築 (しらゆり保育園)



平成27年度事業にかかる事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書及び監事の意見書についての情報は、統括事務局にて閲覧が可能となっておりますのでご遠慮なくお申し出下さい。(統括事務局電話番号: 0852-21-0789)





こんなことを行いました！

# 施設の活動報告

社会福祉法人しらゆり会では様々な取り組みを行っています。  
今回も、各施設からの声をお届けします。

## 救護施設 泉の園

### グループホーム 生活を目指して

私は今、居宅生活訓練をしています。日中は飲食関係の職場で働いていて、調理補助と農園の仕事をしています。働き始めて一年半が過ぎました。

農園では、野菜等を作っています。今はほうれん草や苺を作っています。苺はクリスマスに向けて育てているところです。今年も暑い夏でしたが、何とか乗り越え、頑張る事が出来ました。

仕事は大変ですが、楽しいので一日があつという間に過ぎます。

休日には、買い物をしたリ、散歩に出掛けたり出来るので、毎日ルンルン気分です。仕事にも取り組む事が出来ます。これからも今の仕事は辞めずに続ける気持ちでいっぱいです。

もともとと頑張つて、グループホームに行けるようにしたいです。

### 夜に美人さんたちがやって来た…

去る九月二十四日泉の園に美人さんたちがやって来た。と言っても、月下美人の花でした。今年はずでに九月の初めに一厘咲き三日後また一厘咲き、その後は蕾も出来ずハウスにしまつてありました。が、九月中ごろに沢山の蕾をつけたので再び外へ出していました。そして次々と華麗な花を咲かせました。数えてみると十輪以上の花を咲かせ、見る者を魅了しました。

月下美人は、その名の通り夜にしか咲きません。また、儂く一晩で咲き切つてしまいます。朝になると閉じてしまふその一生を終わります。何とも寂しく悲しくなりますが、咲いている時は短い一生だけに綺麗でありたいと思いが伝わってきます。

秋の夜長、たった一日限りのために咲く月下美人に癒される時間でありました。



なんかお喋りしてるみたいですね



わたし綺麗？



沢山咲きました



# 優雅なバイオリンの音色にうっとり

松江市内の高校3年生でありながら山陰フィルジュニアオーケストラに所属しているらっしゃる、原夏希さんに来園して頂き、バイオリンコンサートを開催しました。アンコール曲を含め、全7曲の演奏曲を生活介護利用の方や、就労継続支援B型で働く利用者の方々に多目的ホールに設置したコンサート会場で聴いてもらいました。曲目は利用者の皆さんに馴染みのある「葉加瀬太郎のエトピリカや、夏の思い出、ふるさと、涙そうそう、Let it go、花は咲く、世界にひとつだけの花」などであり、その曲を落ち着いた雰囲気の中で、聴いておられ



介護等体験実習中の大学生に書いてもらったボードです



80の方が演奏を楽しみました  
生演奏に近い距離で見れ、感動しました

ました。40分あまりのコンサートでしたが、アンコールも多く、質問コーナーや利用者も参加した「花は咲く」では、元気良く踊ったり、歌ったり、歌詞カードを見ながら口ずさむ人がいたり、心が洗われたようで、楽しい雰囲気です。出来事がありました。

# 刺又(さすまた)、初めて使用しました

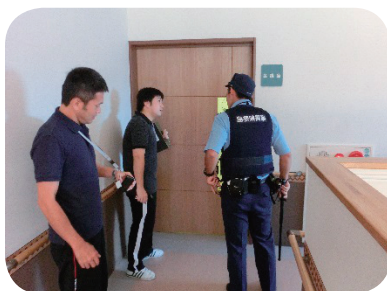
以前、他県で起きた障害者施設の凄惨な事件を受けて、希望の園でも犯罪事件に巻き込まれない為に、防犯のノウハウや不審者に対する対応について、松江警察署と古志原交番の警官の方々に来てもらい、警察官が犯人役になり実践形式での防犯訓練を行いました。その後、「さすまた」を使用した対不審者の対応、防犯や利用者の安全を守る為の意識的な行動、道具の使い方、迅速な連絡や連携等について様々な行動を教えてくださいました。実践訓練においては、不審者に対し職員同士の素早い連携と協力で警察に連絡し、むやみに不審者に威圧的にならず、鍵にある個室に誘導し警察が来るまで閉じ込める事が出来ていました。いざという時に、その場で対応しなければならぬ職員は、1人で取り押さえてしまおうと思わず、出来る方法と自分の

身や周囲の職員、利用者の安全も考え、どの様な対応がより有効かを何も起きていない普段からイメージして、優先順位を決めて落ち着いて行動をとる事が大切であるとの事でした。

ました。40分あまりのコンサートでしたが、アンコールも多く、質問コーナーや利用者も参加した「花は咲く」では、元気良く踊ったり、歌ったり、歌詞カードを見ながら口ずさむ人がいたり、心が洗われたようで、楽しい雰囲気です。出来事がありました。



さすまた実践  
動きを止めるポイントや、壁の利用の説明を受けました



侵入者とドア越しのやり取りを実践中  
通報から警察官到着までの間、時間を稼ぎましたが、実際の時間が3倍くらい長く感じました

## 交通ルールを学びました



自分の自転車をチェック!

互助の館に居られる利用者の中には、市内を自転車で移動される方が居られます。そのため利用者さんが安全に自転車に乗ることができるよう、津田交番の方に来寮してもらい7月2日に自転車講習会を行いました。

講義では無施錠自転車の盗難は防犯登録をしている

と見つかる可能性が高くなることやイヤホンで音楽を聴いての走行は違反になることなど防犯意識の低さにとても驚かされました。

ビデオ講習では交通標識やルールとマナーを教わり、道路交通法の改正などで知らないルールや分かりにくい標識が多くありました。

自転車点検では各自持参した自転車の点検と乗り方を教わりました。ライトや反射材の装備、ブレーキの効き具合、防犯登録の有無など不備が無いように点検しました。

自転車講習で交通ルールをくわしく知ることが出来、また防犯意識も高くなり、とても充実した時間になりました。

## 本人の想いに寄り添う

私が相談支援業務についてから、半年が経ちました。サービス等利用計画書? モニタリング? アセスメント? 耳慣れない言葉に囲まれ、未知の世界に来てしまったぞと思ったのが正直な印象でした。

サービス等利用計画書を作成するのが、相談支援専門員の主な仕事です。本人の想いに寄り添い利用者のライフプランを作るのですが、これが結構大変です。まず、ご本人との関係づくり。本当の想いを言ってもらえないと、なかなか進みません。言われなくても汲み取らなければなりません。この関係づくりでは、先輩方を見ていつも感心させられるところなんです。どうして相手の心をほぐすのがこんなに上手なのかと。年の功だけではないと思うのですが…。さあ、本人の想いが聞けたので次に進もうと思ったたら、家族の想いと違っていた。諸関係機関との連携。

調整、と言うと聞こえがいいのですが頭をさげてお願ひすることが多く…。福祉サービスの利用をと思ったら壁にぶつかり探したり考えたり怒ったり…。

もちろん、この仕事も大変なことばかりではありません。希望が叶って満足される方、福祉サービスが入って表情がよくなっていける方などを見ていて嬉しく思い、また感謝の言葉をかけて頂いてよかったです。と励みになります。

相談支援専門員は、利用者さんの伴走者。隣にいて、安心するな〜と思われる存在になることを目指し、頑張っていこうと思います。

蒔田 美恵子





## 新鮮な体験

私たちは、境港市役所で市内の作業所で作られているパンとクッキー販売のお手伝いをしています。場所は市役所の正面玄関の脇です。「それいゆ」という名前がついたお店です。



初めての「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」

販売のお手伝いを希望した人で、販売時間も3時間半と長いので、その長時間の体力に自信が持てる人に限られます。そして、場所が正面玄関の自動扉の横ですので、冷暖房設備がありません。このため、夏の少しの暑さとか冬の

光洋の里がお手伝いをするようになったのは、施設長が「境港市障害福祉サービス事業所連絡会」に出席された時に、販売を実施している作業所さんから「光洋の里さんもお手伝いしてもらえないか。」と声を掛けられたのがきっかけでした。

販売は、光洋の里は一週間のうちの一日（金曜日）だけの担当です。

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、

メンバーも、



少し緊張しています

の少しの寒さには、なるべく強い人が交代で行くようにしています。それでも、私たちが障がい者には、真夏の熱風のような暑さ、真冬の凍り付くような寒さはとても厳しいと、春の4月から6月そして、秋の9月と10月の穏やかな期間の5ヶ月だけ実施するようになっていきます。

自分の場合は、何をすることもサービスを受ける側なので、販売をするというサービスを提供する側の経験や機会は全くなく、自分がどうすれば良いか、いくら頭の中で考

えても答えすら出てきませんでした。おまけに私は、両手が使えないので、代金を受け取ることも、お釣りを渡すことも、購入していただいた商品を袋に入れて渡すこともできません。こんなやりとりは、一緒に来た職員にお任せするしかないのです。ですから、出来ることと云えば「いらっしゃいませ」と「ありがとうございます」と「ありがとうございました」と言いながら笑顔でお辞儀することしかありません。また、お客様が途絶えたと、張り詰めた気が緩み油断をしていると眠気が襲ってきて、大きなアクビが出そうになるのを抑えるのに苦労しますので、この時はやはり、途絶えないようにお客様が来て頂ければと考えます。

こうした「いらっしゃいませ」とか「ありがとうございます」が初対面のお客様に言えるようになるのは、良い経験でもあり、自分が社会の一員であるという証のようなものが持てる良い機会だと思います。

利用者 山崎 嘉通

## ハロウィンの日がやって来た

さざなみでは、午後を中心にレクリエーションや創作活動を行っています。他にも近隣の名所や四季折々の大山などに出掛けるなど利用される方の障害に合わせ、考慮しながら実施しています。今回はその中のひとつとして特に毎年恒例になっている十月のハロウィン施設内パレードに向けた



見事に変身!いかがでしょうか?

取り組みを次のように紹介させていただきます。  
 まず初めに利用者、職員と一緒に検討会を開き、「今年のテーマは何にしようか」から始まり、では、「それぞれどんなキャラクターの衣装で変身しようか、どのような材料で作ろうか」など、話し合いながら作り上げていきます。この時期は普段以上に皆さん楽しそうに参加され、衣装作りを通しての達成感や利用者さん同士のつながり、そして職員との信頼関係がより一層深まる良い機会にもなっています。  
 この様に、これからも利用したい、利用して良かったと言ってもらえるよう職員一同創意工夫した活動を提供していきたいと思っています。

## 就労継続支援A型事業 ワークセンター島根

## お互いの理解が支援への一歩

人はそれぞれ好き嫌いもあれば得意不得意もあり、個人個人にその目を向ければ大きな差があります。ワークセンター島根では、身体・知的・精神に障がいを持つさまざまな人が働いているため、個人の障がいに合わせた支援の提供が求められます。

多くの製品を手作業で生産するため、多いときには一日数万の製品を作ります。納期や、不良率を下げることなどの品質管理も求められるため、作業の手順や方法も多岐にわたります。

同じ作業をしてもいく中で、支援といっても一人ひとり必要とする場合はたとえ同じ障がいを持つ人たちでも違ってきます。それぞれの障がいを理解し必要な支援を行うためにも、日々の利用者の方とのコミュニケーションはとても大切です。

その中でも私たち支援員だけではなく、障がいを持つ人たち同士の助け合いの

場面もよく見られます。目の見えない方を、車椅子の方が声掛けをしながら一緒に移動していたり、難聴の方に手話を教わりながら話をしたりしていく中で、気づう心が育てられていくのではないかと感じます。お互いがお互いの苦手なことを手助けあうことで、職員も利用者の方も一致団結してより良い製品を作ることが出来るのではないでしょう。そのためにも日々、利用者の方との繋がりを大切にしながら、働く喜びや、自立した生活のサポートをしていきたいと思っています。



手話を教わっています。ムズカシイ〜!



## 「春夏秋冬」夢楽の郷の一年



妖怪ねこ娘に会いました。一緒にハイチーズ!



見ごたえ満点ナイアガラの滝

**春** 5月遠足がありました。水木しげるロードに出かけ、ちよつと怖くて可愛い妖怪たちに出迎えられ、楽しく散策しました。記念館ではどこか懐かしい気のある妖怪が多数展示されており、皆さん熱心に見入っておられました。気持ち良く体を動かしお腹も減ったところで遠足の楽しみの一つのお昼ごはんの時間で

す。境港の海の幸をふんだんに使った刺身やてんぷらなどの料理に皆さん大喜び、「美味しいね」と会話も弾み和やかな時間を過ごしました。お土産を買って記念写真を撮つと、思い出に残る遠足になりました。

**夏** 8月ミニ花火大会が行われました。ミニとは言え本格的なもので、打ち上げ花火は

とても迫力があり、あちこちで歓声が上がります。また手持ち花火では、手元の綺麗な花火を見つめ夏の夜のひと時を楽しみました。花火大会の最後を飾るのは「ナイアガラ滝」参加された30名以上の皆さんが花火大会の終わりを惜しむかのように拍手を送られました。

**秋** 10月の喫茶・展示会が開催されました。日頃皆さんが趣味やサークル活動で創られた作品が誇らしげに展示されお客様を迎えます。どの作品も心のこもった力作揃いで来場されたお客様からも「すごいね」「素敵だね」の声をたくさん頂きました。喫茶コーナーとなった食堂では手作りのスイーツや飲み物でたくさんの方をもてなしました。一年の内が一番活気のある一日となりました。



力を込めてヨイショ!

**冬** 12月餅つきを行いました。昔ながらの白ときねを使い、力自慢の男性陣が力強くきねをふるい、合の手との呼吸もぴったりと、餅がつきあがります。つきあがった餅は女性陣が形よく丸め、りっぱな鏡もちも出来上がり、お正月を迎える準備が出来ました。

「春夏秋冬」一年の過ぎるのはあっという間に感じます。様々な行事により入居の皆さんに充実した楽しい毎日を過ごして頂きたいと思っています。いつまでも笑い声の絶えない夢楽の郷であるよう暖かい支援をしていきたいと思えます。

## 私達に出来る事

現在、二階フロアには二十四名のご利用者様が生活されています。平均介護度は四、下は六十七歳から上は百一歳の方々を、十二名の個性豊かなスタッフで、日常生活のお手伝いをさせて頂いております。

誰もがいつかは、自分以外の人のサポートを受けながら生活する事になります。これはご本人にとって辛い事だと思いが、ご家族にとっても同様の事が言えるのではないのでしょうか。

そこで、今年度二階では、二つのフロア目標を掲げ日々取り組んでいます。

一、拘束の無い生活を提供する。  
二、ご利用者様・ご家族様に寄り添った支援を提供する。

当たり前の事だとは思いますが、大切なご家族をお預かりする以上、私達職員がご利用者様お一人お一人に対しきめ細やかなケアを行い、安心して生活して頂けるよう寄り添う必要があると思えます。ご利用者様の声に耳を傾け、「ご利用者様の「したい」という気持ちを大切に、出来る限り実現させていきたい」と考えています。

その中から、今回は『クッキング』の様子をお伝えしたいと

思います。季節感を味わって頂くとう、秋に「スイートポテト」作りを行いました。包丁を片手に真剣な眼差しでさつま芋を切る作業や、一つのテーブルを囲んで蒸しあがったさつま芋を手で丸める作業などを経て、最後に目と口ばしを付けて可愛らしい「ひよこのスイートポテト」の出来上がりです。表情豊かなひよこ達。どことなく誰かの顔にも似ている物もありました。このようなレクリエーションを通して、普段は発語が少ない方の声が聞けたり、笑顔が見れた時は、観ているこちらも嬉しくなります。

可愛いひよこの  
スイートポテトの  
出来上がり



口腔体操の風景

## お月見お茶会を終えて

10月12日、今年もいやしの館の恒例行事「お月見お茶会」を行いました。

今年は例年同様、季節の野菜・果物・お団子・すずきなど季節の物をしつらえたほか、ご利用者様に作って頂いた大きなお月さまを飾り、お月見の雰囲気を感じて頂けたかと思えます。さらにボランティアの方が和装で来て下さり、普段とは違う雰囲気皆さん嬉しそうにカメラに顔を向けておられました。

その後、お抹茶と上品な和菓子をお祝いし、来

年の豊作をお祈りしながらとても楽しいお茶会となりました。利用者様からは「美味しいお菓子だわ」「久しぶりにお抹茶を頂いたわ」など喜びの声を聞く事ができました。

また最近では、職員が採って来ためだかを施設玄関で飼育し始め少し和やかな雰囲気になったように思います。

年末に向けバタバタと忙しくなりますが、ご利用者の方々には穏やかでゆったり過ごしていただけるように努めてまいります。

今年は鉄瓶で本格的!!!



昔を思い出しておられるのでしょうか...



三宝に季節の品々をしつらえて...





## きらめく笑顔

「デイサービスきらめき」では様々なレクリエーションや行事等を用意し、ご利用される利用者様が、笑顔で元気に過ごされていきます。何気ないその笑顔、そこには、「おはようございます」と元気で気持ちのよい挨拶をする事から始まります。元気な挨拶をする、ご家族様、ご利用者様も笑顔で応えてくださいます。元気な挨拶は無意識に笑顔になり、気持ち良くなる日が始められ、そこから会話が始まります。ご利用者様の中には、「人との接点が無い」「話し相手がいない」と言われる方がおられます。毎日の生活の中で、誰とも気持ちを共有できなかったり、孤独感を感じたりすると、いつの間にか暗い気持ちになり笑顔が消えてしまいます。利用日の朝の元気な挨拶はとても効果的だと実感します。



今日も素敵な笑顔で過ごせました



御利用者の皆さんの元気な姿を見るとスタッフも自然と笑顔がこぼれてきます。レクリエーションの時間や体操の時間、皆さん張り切って参加されます。それはきつと、朝の元気な挨拶の効果だと思えます。「今日も楽しかった」「また来るね」と言ってくくださるご利用者さまの笑顔を大切にしていきたいと思えます。

## 毎日元気をありがとう

今年度「ねぎらい」では、移動支援において通学支援が始まりました。大庭小学校低学年の男子児童を地区の登校班と一緒に、付き添いながら通学しています。毎朝7時20分にご自宅に迎えに行き、保護者の方と情報交換をした後、出発します。途中、車の交通に気を付けたり、班から遅れないよう気を付け、約45分かけて大庭小学校まで歩きます。しりとりをしたり、言葉遊びをしたり歌を歌ったり… 普段ご高齢の方への支援が多い中で、我々ヘルパーも、この男子児童から若さと元気を貰っています。



「さあ、手をつないで出発〜!」



「しりとりしよう!」「りす」「すいか」…

童にとっても、色んな大人と関わる経験が成長に繋がっていくと思います。毎日同じ職員が支援することは出来ませんが、それでも男子児童が通学支援開始から、一度も学校を休む事なく元気に通学してくれている事が、私たちにとっても大変嬉しい事です。

## 訪問リハビリ

「趣味・役割・生きがいを感じられる生活を支える」



呼吸リハビリ中です

訪問看護ステーションに、理学療法士として、訪問リハビリ業務に従事しています。訪問リハビリは、まだまだ世間に認知されていない言葉かもしれませんが。訪問リハビリは、病院や施設で行うリハビリではなく、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、その方のご自宅を訪問し支援を行います。在宅準備が整い、病院や施設を退院したけれど、実際に生活してみると想像以上に大変であったり、新たな問題が見えてきたり、また、リハビリをする機

会が減ってしまい、退院した時よりも身体の調子が悪くなったりと、色々な問題を抱える場合があります。訪問リハビリでは、直接的な身体のリハビリや生活環境整備、介護方法の検討、社会資源との架け橋を担います。ご利用者様やご家族様が実際に困っておられる生の声を聴く為、病院で行うリハビリとは違う難しさもあります。やりがいを感じます。また、リハビリは単に身体を良くすることだけでなく、「趣味」や「役割」など、「生きがいを感じる」ことの出来る生活を再獲得していくことに意味があります。このことは決して簡単なことではありませんが、リハビリ専門職、特に訪問リハビリはご利用様が、「住み慣れた地域や家でその方らしい生活が出来るように」、「その方にとっての幸せとは何か」を考えることをやめてはならず、目標実現の為支援を続けていく責任があると感じています。

## 居宅介護支援事業所 ナイス

## 困っている原因を見つける

高齢のご利用者の皆様は、身体や環境の変化から日常の様々な場面で生活のしにくさを感じる事があると云われます。

そのような中、ご利用者のA様より、「左足の付け根にできた傷がなかなか治らず、少し当たっただけでも痛い。」との話を伺いました。

実際に部屋で過ごされる時の様子を見せていただいた所、ずっと使っておられた置き時計が止まってしまっただけで、寝坊をしてはいけないという不安から、夜間は左側の掛時計がいつでも見えるように、殆どの時間を左を向いて休んでおられた事が分かりました。そこで置き時計の電池を新しいものに入れ替えて、夜休まれる時にはその時計を布団の近くに置いて、安心して休んでいただくようお願いをしました。そ

の翌日に訪問したヘルパーに、昨夜の就寝の様子を確認してもらった所、「何ヶ月ぶりかで(左側ではなく)上を向いて寝ることが出来た。目覚まし時計もいつも起きる時間に鳴った。」と喜んで話して下さったそうです。

今回のA様のように、困りごとの原因を一緒に探り、その結果少しでも本人様の生活がしやすくなる事は、関わらせていただく私たちの喜びでもあり、そのような事の積み重ねが仕事のやり甲斐につながると感じます。





ようこそしらゆり保育園へ ～地域とのかかわりの中で育まれるもの～



おいしいごちそうできるかな…



芝生でゴロゴロ…気持ちいいね!

温かい木のぬくもり、大きな窓から差し込む明るい陽光に包まれた新園舎で、子どもたちの楽しそうな笑い声が響きわたっています。全ての保育室に囲まれた園庭でなんじゃもんじゃのシンボルツ

リーに見守られ子どもたちが元気に遊んでいます。園舎横の広い畑では三歳以上児クラスの子どもたちが季節の野菜を栽培し、それを使っている。クッキング活動も行っています。

風土記の丘や神魂神社などもぐっと近くなり、散歩にでかけたり、以前からお世話になっている地域の竹林で筍掘りをするなど自然に触れる体験も楽しんでいます。

新しく長者原の地に引越越し、地域の方に保育園に来て頂いて園舎を見ていただいたり、園児との交流も始めました。春の「はじめましての会」の時からすぐに親しくなり、握手をしたり話も弾んでいる子どもたちでした。秋の敬老お祝い会では、「いつも家にいると聞こえてくる和太鼓の音が気になっていたが、今日は子どもさんたちが演奏しているのを見たら涙がでるほど感動しました。」とうれしそうに話してくださいる方もあり、私たち職員もうれしく思いました。また、地域のデイサービスの方が来られ園児との交流をしました。陽のあたる広々としたテラスから園庭で



地域のみなさんよろしく願っています!

遊ぶ子どもたちの様子を見られたり、寄ってくる子どもたちと手遊びをしたりお話をしたりされ楽しいひと時を過ごしていただきました。

新園舎になり快適な環境の中で保育できる事に感謝すると共に、この長者原の地になくなくてはならない保育園として位置づけることができるよう、地域の方々とのふれあいを深め、地域の皆さんの力もお借りしながら、これからも心豊かで、たくましい子ども育成に取り組んでいきたいと思っています。

# 乳幼児期の「思考力の芽生え」とらえる保育をめざして

現在、国によって保育所保育指針の改定作業が進められています。幼稚園教育要領との整合性や、小学校以降の教育で重視される資質・能力との接続を図るための、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に置くよう求められています。

今年度、しらゆり第2保育園では10の姿の一つ「思考力の芽生え」に焦点を当てた保育について日々の実践の中で考えてきました。

## 事例から あかゆり組(5歳児)のピーマンクッキング

みんなで育てたピーマンとパプリカがたくさん収穫



自分たちで計量したり、混ぜたり...



「菌が生きているの?」「息をしてる?」と不思議そう



完成したピーマンピザ

でき、「どうやって食べようか?」と子ども達と相談しました。

### 1時限目【話し合い】

たこやき・サラダ・ピザ・スープ・ピーマン丼・ケーキ・ジュース・アイス・ゼリーetc.: ピーマン料理のアイデアがたくさん出た中で多数決をとり、ピーマンピザ・ピーマンアイスに決定しました。

どうやって作るかを話し合い「給食の先生に聞く」「家の本で調べてくる」「スマホで調べる」等の意見が出ました。

### 2時限目【準備】

子ども達自身が給食の先生に、材料、作り方を聞きに行

き、ノートにメモをとり、担当が調べたレシピと合わせてホワイトボードに記入し確認しあいました。

次に何を持って来たらいいのかを話し合いました。「エプロン」「マスク」「三角巾」「手袋」など必要な物は各自が持つてくることになりました。

### 3時限目【調理】

ピーマンピザづくりの様子。

(1) 薄力粉・強力粉をスケールで計りながら慎重に入れています。

「300だよ」「サン、ゼロゼロ?」と量りのメモリを見る人、粉を入れる人に役割を分担。微調整は、スプーンで粉を足したり、袋に戻したりしていました。水も子ども達で軽量カップを使い量つて入れました。

(2) ピーマンの向き、包丁の角度などをいろいろ試し、切る子が多かったです。「今どこ?」ホワイトボードの手順を(工程)担任に確認。友達と話し進める子もいました。

(3) こねた生地をねかせる時発酵して膨らみ続けるピザ生地が目が離せず、「ぶっくり耳が出てきた!」と何故膨らむのかを考えながら子ども達は興味津々で見っていました。完成したピザを子どもたちは大喜びで食べていました。

## 保育を振り返って

ピーマンは子どもにとって少々苦手な食材だったので、活動の盛り上がり欠けるのでは?と思いましたが、子どもが自分達で考え、分量調節などをする中で、役割に責任を持つていました。食材の調理されていく工程での変化、自分の役割があることでより主体的に動いて良かったのではないかと思えます。

子どもの思いに寄り添い、環境やタイムリーな援助などをさらに工夫することを通して、子どもの思考力の芽生えを引き出し高める保育のあり方について今後も深く考えていきたいと思いました。



## 保育士の資質向上を目指して…

しらゆり第3保育園では、昨年度から、朝の朝礼、職員会、園内研修、研修会報告会に正規職員・臨時職員の全職員が参加し、一人ひとりの職力が保育士として平等に保育力の向上が図られるように努めています。

朝礼は、短い時間ですが、その日の行事・来客・研修会参加・職員体制・アレ

ルギー食の確認・その他気づきや連絡事項などを簡潔に伝達します。どの職員が参加しても、責任を持って、クラスの職員に伝達をする習慣がつき、園内のことが、全職員に伝わり、来られたお客様に対する挨拶や対応などもきちんとできるようになりました。

園内研修では、外部研修に参加した職員が、親学のワークショップや音楽あそび・運動あそびなど、

回覧のみでなく実践報告をして、園全体で学び合うことで保育に活かせるようにしていきます。また、年に2回は、手洗いや嘔吐物処理の仕方など保健衛生面での実技講習を行い、マンネリ化しないように再確認しています。毎月行っている救急蘇生法はグループで行い、手順を数人で確認し



園内救急蘇生法研修  
グループごとに手順を確認し、連携プレーの演習をします

あいながら、蘇生法が間違はなく行えるようにしています。

今年度は、保育所指針でも重要とされている「保育所職員に求められる専門性と人間性」について各クラス一人ひとりが付箋に書き留め、クラスで話しあい、意見交換し、まとめて園全体で発表しました。また、その結果について、松江市の保育専門指導員の安達和美先生にご助言いただきました。職員間で、子どもや保育者としての自分自身、そして保育について語り合う中で、他の職員の気持ちや意見を聞いたり、クラスでまとめたり、またそれを園全体の職員で共有することで自分達に足りなかったことや大切にしたいことを再確認することができました。個々の職員は、年齢、知識、経験年数等に違いがあり、個性や価値感、感じ方、捉え方も違います。しかし、そんな一人ひ



KJ法ワークショップによる園内研修の様子

とりが語り合えることが一人ひとりの保育士としての資質を向上させ、園全体が高まっています。

子どもの最善の利益の尊重を念頭において、全職員が自己研鑽を図り、さらに保育園全体がステップアップ出来るように、情報を共有し、共通意識を高めながら、保育士としての資質向上に努めていきたいと思えます。

## 心豊かな子を育む保育

(自信を持って表現する子を目標として)



「リレーがたのしかったが!!体育館の床はちゃいろだったわ」「そうそうはたもあったよ」とうんどうかいのことを思い出しながら描いています(あかゆり組)



おはなし「ねずみのいもほり」の絵を描きました。いろいろな形の芋を、ねずみさんがひっばっています(ささゆり組)



講師の舟井先生を囲んで討議会

当園のささゆり組(4歳児)・あかゆり組(5歳児)の園児の中には、描画活動において自分の世界に入り込んで納得するまで描こうとする子、描くことに自信がなく、なかなか描き出せない子やどのように形にしてよいのか困っている子などさまざまな姿がありました。

「描画活動を通して自分の思いを伝えたい、聴いてほしい」という強い気持ちを持ってほしい。「想像したことを自分なりに表現してほしい」という願いを持って描画活動に取り組んできました。しかし、題材が年令に合わず、担任の思いが先行してしまったり、導入の工夫が足りなかったりと、担任の迷いなどから子どもたちは何を描けばいいか困ったりすることもありました。

六月と九月に、大阪から造形の講師、舟井先生をお迎えし描画指導を受けました。「どの子にも描く力をつけさせる為に、成功率100%のテーマを見つけてあげることが大切」と教えて頂き、子どもたちの取り組みやすい「お話の絵」を描く機会を多く持つようになりました。

六月と九月に、大阪から造形の講師、舟井先生をお迎えし描画指導を受けました。「どの子にも描く力をつけさせる為に、成功率100%のテーマを見つけてあげることが大切」と教えて頂き、子どもたちの取り組みやすい「お話の絵」を描く機会を多く持つようになりました。

子どもたちと一緒に絵本を見ながら描きたい場面を話し合うことで、担任として「この場面を描いてほしい」という気持ちを持って、担任の迷いがなくなると同時に子どもたちは描きたいことがイメージ

子どもたちと一緒に絵本を見ながら描きたい場面を話し合うことで、担任として「この場面を描いてほしい」という気持ちを持って、担任の迷いがなくなると同時に子どもたちは描きたいことがイメージで子どもの姿が、描く絵が変わっていったことはとても嬉しいことであり、保育者としても自信が付き描画活動がより楽しめるようになりました。又、子どもが描いた絵を見てほしい、聴いてほしいという思いが出てきたことで、親子での会話や保護者と担任の会話も増え、描画活動を通して子どもや保護者との信頼関係が築けたように思います。こうした取り組みを継続することが園の子育て目標につながっていくことだと再確認しました。





# フィンランド研修旅行記

永年勤続(二十年)視察研修報告

秋も深まる十月の終わり、私達六名は出雲空港を出発、羽田、成田と乗り継ぎ九時間三十分をかけ日本から一番近いヨーロッパ、フィンランドのヘルシンキ国際空港に到着しました。そこは思っていたほどの寒さを感じませんでした。そしてすぐに目に入ったのはフィンランドを象徴するブランドのマリメッコを機体にデザインした飛行機でした。フィンランドに到着したことを実感した瞬間でした。そこからさらに、空路で三時間半近くかけて視察先の保育園があるロヴァニエミの空港へ到着しました。北緯六十六度に位置するところだけに、降ってはいないものの道路には雪がみられ防寒着なしでは耐えられない寒さでしたが、雪景色の中に見るトナカイのイルミネーションの輝きは寒さも忘れるほどの素晴らしさでした。

## 『フィンランドってこんな国』

フィンランド共和国はスカンジナビア半島の内側、バルト海の一帯に位置する国です。東にロシア、西にスウェーデン、北はノルウェーと国境を接します。北緯六十度から七〇度にわたり南北に細長い国の三分の一は北極圏内に位置し、国土の六十五パーセントが森、一〇パーセントが湖沼と河川からなるため『森と湖の国』と呼ばれています。国土面積は日本よりやや小さく三十三万八千km<sup>2</sup>で人口は約五百四十五万人です。日本との時差はマイナス七時間。但し三月の最終日曜日から十月の最終日曜日まではサマータイムで時差は一時間早まります。北極圏以北では夏、太陽が全く沈まない白夜が訪れ最北部では

ワークセンター島根	和田 栄治
いやしの館	岩田 洋子
詔光の里	山本 保恵
ナイス	小林絵里子
しらゆり第2保育園	恩田 由美
しらゆり保育園	坂本 優紀





ヘルシンキにある北欧最大のロシア正教会の寺院“ウスペンスキー大聖堂”

七三日間続きます。フィンランドの主要産業は、森林業、金属・エンジニアリング、情報・通信技術の三つです。また、社会福祉制度の充実した国でもあり、福祉サービスの中でも家族政策に力が入られています。誠実であり、個人を大切にシンプルな生活を好むのがフィンランド人の特徴だそうです。また、国家として個人の自由を促進し、友好関係を築くことに高い価値を置いているそうです。日本人の性格と似ておらからで、大人しく、シャイな人が多いそうで、なんだか親近感がわきました。そして、この視察旅行でも何度か行く先を尋ねることがありましたが、フィンランドの人達はみんな丁寧に英語で教えて下さる親切な人ばかりで助かりました。(公用語はフィン

ランド語とスウェーデン語ですが、英語を話せる人も多いそうです。)

### 『ランタヴィイティカン 保育園視察』

フィンランドでは、幼児教育機関は一本化されており、日本のように保育園、幼稚園といったように分かれていません。そして、法律上、保護者が保育園への入園を希望すれば必ず入園させなければならぬので待機児はいないそうです。制度の違いこそあれ待機児ゼロというのは日本からすればうらやましく思う人が多いのではないかと思いました。私達が見学させて頂いたランタヴィイティカン保育園は首都ヘルシンキから北に約



保育園の子どもたちが歌や踊りを楽しそうに披露してくれました

八百キロメートル先にあるロヴァニエミという都市にあります。ロヴァニエミには公立、私立合わせて三十五ヶ所の保育園があります。保育内容はそれぞれの園で独自のものがあります。私立の保育園であっても市がサービスを買っているの保育サービスについては同じように受けることができるそうです。保育時間は午前六時から午後十時までで、土曜、日曜日は休みとのこと。但し、市内で二ヶ所は土、日曜日も開所しているところもあるそうです。五月三十一日から八月中旬までは夏休みになるそうです。午後十



布の壁面や木のぬくもりに包まれた温かみのある保育園の保育室

時までの保育時間には驚きましたが、実際の利用状況としては午後四時までの迎えがほとんどだそうです。これは、保護者の勤務先の就労時間に関係しているためで、家族との時間を大切にしてお国がら感じるると同時に家族との触れ合いの時間が少なくなっている日本との違いを感じずにはいられませんでした。保育料は、何日、何時間利用したかと保護者の所得によって決まるということでした。また、フィンランドでも不況のありを受け失業率が高くなっているそうです。また、保護者が失業中であつたり学生である場





1年中フィンランド全国で食べられているというヘルシーなトナカイの肉料理



広く遊具もたくさんある保育園の庭には雪もたくさん…

合は保育料も無料になるそうです。入所年齢は九ヶ月から就学前まで。但し、就学前は新学期の始まる八月中旬から園とは違う場所にあるプレスクールという所に通うことになっているそうです。職員構成としては、保育助手（資格なし）、保育士（専門学校三年）、保育教諭（四年生大学）からなっているようです。

国の基準である保育士定数は四歳未満の子ども四人に対して保育者一人、四歳以上の子どもは七人に対して保育者一人と、日本に比べてかなり緩やかで満たされた人員配置だと感じました。逆に視察先の園から日本の保育士定数を聞かれ答える「大変ですね。」と言われた

ことも印象的でした。視察先の保育園の保育方針は『子どもの健康、安全を考え成長を見守っていく、たくさん遊ばせることで学びにつなげていく、保護者との連携を心がけ温かい愛情のこもった保育』ということでした。これは日本と共通する部分をおおいに感じました。ちなみにクラスの名前には赤キツネ、金キツネといった風になっていました。フィンランドではオーロラのことを狐火というそうです。オーロラを見ることができるロヴァニエミならではのネーミングだと思えました。各保育室の他に、遊戯室や製作室、絵画室、食事ルームなどの部屋があります。どの部屋も子どもたちの作品が飾ら

れ、保育者の環境構成により家庭のような温かみを感じました。また、防犯のため保育園内には数ヶ所防犯カメラがとりつけられています。食事は、この園を含めフィンランドの保育園では全て朝食と昼食を提供しているということでした。朝食の提供というのは保護者にとっては助かるサービスだと思いますが、家族ととる食事の時間が少なくなることを考えるとどうなのだろうと疑問を感じる所もありました。保育内容は外遊びや、自然物に触れた遊び、造形活動、ごっこ遊びなど多岐にわたっていました。外遊びについては、冬はマイナス二十度になることもあるそうですが、全年齢の子が防寒をして必ず一日三十分から一時間取り入れているそうです。これで肺が鍛えられ丈夫な体作りにつながっていくそうです。また、三、四月はかなり日差しが強いため乳児であってもサングラスを着用するそうです。見学に来た私達に三、四歳児の子ども達がゲームや歌、踊り、表現遊びなどを発表してくれました。中には日本でも馴染みの曲もあったりしま

した。どこの国でも子ども達の表現は変わらず、かわいらしいその表現に心癒されるひと時でした。また、この園の視察にあたり、園長先生が中心に説明や案内をして下さいましたが、この保育園に子どもを預けておられるフィンランド在住の日本人の方からも保護者の立場からお話を聞くことができました。保育内容やサービス、保育者との関係にも満足しており、安心して子ども達を預けておられるとのことでした。

短い時間でしたが保育園の視察を通して社会制度の仕組みの違いはあれ子どもより良い育ちと家庭の支援については共通の理念や思いを持って保育しておられるのだと感じ、良い刺激となり自分達の仕事に携わっていく意欲につながったように思います。

## 『ロヴァニエミ市内の視察』

ロヴァニエミ市中心街から北東へ八キロの所ラップランド地方には一年中クリスマススムードに包まれたサンタクローズ村が



サンタ村中央部にある北極圏との境界線（北緯66度33分線）

あります。北極圏の境界線が通る場所でもあり、周囲を森に囲まれた幻想的な小さな村はまさに極寒のおとぎの国のようにです。視察二日目、私達もこの村を訪れサンタさんと出会いました。サンタさんは世界各国の言語が堪能だそうで私達も日本語で会話を楽しませてもらい、サインも頂きました。気持ちはずいぶん戻り楽しませて頂きました。サンタクローズ村からは村限定の消印を押してサンタさんからの手紙を届けてもらえる所もありました。そこからクリスマスに向けて配属先の保育園の子も達にサンタさんからの手紙を送りました。クリスマス会当日、サンタさんからの手紙

に園の子どもたちは喜んでくれ、うれしく思いました。

フィンランドといえばオーロラも有名ですが、その夜はオーロラスポットと言われる場所へオーロラ鑑賞にでかけました。スキーウエアーを身にまとい完全防備でバスに乗りオーロラスポットと言われる街から離れた雪のある平原へ向かいました。オーロラの出現を待ちながら、薪火を囲んでガイドさんの英語でのオーロラの話聞きしました。英語での話の理解は難しく、残念ながらその夜はオーロラを見ることはできませんでしたが、ラップランドの伝統的住居を見学したり、街灯から離れ、静けさと闇が広がる平原で焚火を囲んでオーロラの出現を待つというなかなかできない体験は貴重な思い出になりました。

視察三日目は、フィンランド最北の動物園『ラヌア動物園』に行きました。ロヴァニエミの街から約八十キロ先にあります。ここでは北極圏に住む約五十種類の野生動物達が飼育されており、トナカイや熊などのフィンランドお馴染みの動物からオオヤマネコやクズリ、オオ

カミなどの希少な動物とも出会うことができます。ラヌアは森の一部をそのまま動物園にしたような場所で、園内には木の遊歩道が張り巡らされており、巡って行けば動物達を一通り見られる仕組みになっています。自然の中を歩きながら動物達を見て歩くのは気持ちよかったです。ここでは、それぞれの動物に広い土地が与えられています。そのためか、心なしかみんなのびのびしている印象でした。動物に配慮したつくりになっているのだと感じました。日本だったら二重に囲った檻に入られていそうな動物が、牧場にあるようなシンプルな柵に囲まれているだけだったりして手を伸ばせば触れる位近いものもありました。トナカイなどお話の世界の動物でしたが本物を真近でみる事ができたことも感動でした。

最終日はヘルシンキに戻り、ヘルシンキ大聖堂、ウスペンスキー寺院、テンペリアウキオ教会などヘルシンキの顔ともいえる有名建造物でもある寺院を巡りました。建物の外観の素晴らしさもさることながら、寺院の



ラヌア動物園でホッキョクグマ?とハイポーズ「ガオー」

中に座っているだけでその荘厳なたたずまいと静寂さに心落ち着くものがありました。

## 『研修視察を終えて』

福祉の取り組みの中で、見聞を広め、様々な情報を取り入れ活かしていくことが大切な昨今にあつて、このような福祉制度の充実した国への海外研修視察の機会を与えて頂いたことに、私達は深く感謝いたします。この視察研修で学び感じたことを、福祉施設の職員としての糧とし、それぞれの職場での職務に活かしていけるよう努力していきたいと思えます。



# 社会福祉法人 しらゆり会

第一種事業

第二種事業

公益事業

(注) 各施設の記載順は社会福祉法に定める事業の順とした

統括事務局 松江市山代町 934-5 TEL.0852-21-0789 FAX.0852-27-6985

社会福祉法第2条 第2項	
第1号	生活保護法に規定する救護施設 救護施設 泉の園 松江市矢田町472 TEL.0852-24-3512 FAX.0852-27-6987
第3号	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-4165 FAX.0852-27-6982
	特別養護老人ホーム いやしの館 松江市西川津町733-1 TEL.0852-27-0081 FAX.0852-27-0071
	軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町933-9 TEL.0852-31-9036 FAX.0852-31-9038
	障がい者総合支援法に規定する障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町934-10 TEL.0852-21-0791 FAX.0852-21-2829
第4号	障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町2480 TEL.0859-45-5400 FAX.0859-45-5411

社会福祉法第2条 第3項	
第2号	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市大庭町135-1 TEL.0852-22-3803 FAX.0852-60-7132
	児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町336-5 TEL.0852-23-3340 FAX.0852-60-7131
	児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町484-6 TEL.0852-26-2356 FAX.0852-60-7130
	児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町188-3 TEL.0852-21-3440 FAX.0852-60-7135
	老人福祉法に規定する事業
第4号	老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねざらい 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3328 FAX.0852-27-6982
	老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3370 FAX.0852-27-6982
第4号の2号	就労継続支援A型事業 ワークセンター島根 松江市矢田町250-110 TEL.0852-22-4105 FAX.0852-31-1167
	生活介護事業 さざなみ 境港市渡町2480 TEL.0859-45-5407 FAX.0859-45-5411
	共同生活援助事業 互助の館 松江市東津田町1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500 松江市矢田町484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313
	相談支援事業所 ねくすと 松江市山代町934-10 TEL.0852-21-5080 FAX.0852-21-2829

社会福祉法第26条 第1項	
施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業 他 居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3288 FAX.0852-27-6982
	訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町934-5 TEL.0852-28-0906 FAX.0852-27-6982

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。  
下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。  
<http://www.sirayurikai.or.jp/>



写真 社会福祉法人しらゆり会創立50周年記念式典  
(平成28年11月22日・ホテル一畑)

社会福祉法人しらゆり会創立50周年を記念して、ホテル一畑において記念式典と祝賀会を翌日23日には、ニュースキャスターの辛坊治郎氏をお迎えして記念講演を開催。島根県知事(代理)、松江市長、境港市長をはじめ、しらゆり会役員、万寿会関係者、各施設親族や取引関係者等約200名が参加。国頭正治理事長のあいさつで式典が始まりました。

## 編集後記

昨年は自然災害の多い年でした。まだ災害被害から復興に向け頑張っておられる皆様に、新年を迎え良い方向に近づくことを祈っております。今年には社会福祉法の改正により、4月から大きく変貌する年になります。福祉事業に携わる我々が誇りに思える職場を意識し、多くの若い人たちを含め改めて人とのつながりをさらに大切に考えていきたいと思えます。

最後になりましたが、発刊に際しまして、お忙しい中、原稿作成をしていただきました皆様方にお礼申し上げます。



しらゆり【第32号】平成29年2月発行  
●発行人/理事長 国頭正治  
●編集・発行/社会福祉法人しらゆり会  
●制作/株式会社計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。  
また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。